

北海道議會時報

第 23 卷 第 2・3 号

昭 和 46 年 2・3 月



北海道議會事務局

…… 第 2・3 号 目 次 ……

議 会 の 動 き

議 会 運 営 委 員 会	1
常 任 委 員 会	1
特 別 委 員 会	6

総合開発調査特別委員会
石炭対策特別委員会
札幌オリンピック冬季大会特別委員会
北方領土対策特別委員会
公害対策特別委員会

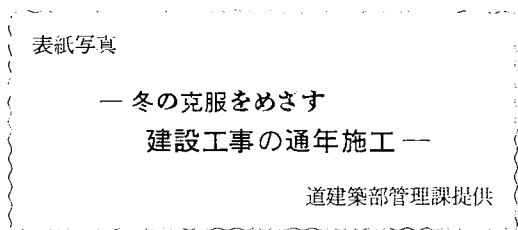
会 合

全 国 都 道 府 県 議 会 議 長 会	8
都 道 府 県 議 会 議 員 共 済 会	8
10 都 道 府 県 議 会 議 長 会	8

資 料

衆・参両院正副議長、常任、特別委員長一覧	9
----------------------	---

1・2月のメモ



総務委員会

議会運営委員会

- 1月27日 午後1時7分、議会運営委員会室において開議、午後1時16分散会、委員長 奥野 善造（自民）
- ① 委員長から、継続審査中の報告第4号（昭和44年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）および会議案第1号（北海道公害防止条例の一部を改正する条例案）に対する決算および公害対策特別委員会の審議状況について報告。
 - ② 第1回定例会の招集日および会期について、理事会協議の結果、1定を2月19日に招集するよう理事者側に申し入れること、会期は20日間とすることについては、異議なくそのことに決定。
 - ③ 予算特別委員会について、分科会方式によらず審査を行なうこと、構成は19人とすることに決定。
 - ④ 議運の検討事項（1複数代表質問制、2会派の基準3常置特別委員会正副委員長の配分）については、改選後の次期委員会に申し送りたい旨をはかり、倉増委員（自民）から意見、委員長から応答があつて、異議なくそのことに決定。

- 1月8日 午前11時21分、第5委員会室において開議、午後零時12分散会、委員長 島田 薫（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和46年度北海道開発関係予算にかかる中央折衝の実施経過について報告、異議なくこれを了承。
- ② 総務部長から、昭和46年度地方債計画について説明の後、
村本（政）委員（社会）から、国庫補助の特例条項に対する将来の方向および撤廃による道および市町村の来年度における負担の程度、地元負担分に対する交付税算入の見直しおよび道、市町村の負担能力との関連等について質疑、意見および要望があり、総務部長および企画部長から答弁。
- ③ 委員長から、滝川市および空知郡江別乙町の廃置分合に関する現地調査の実施ならびに公務員の寒冷地手当改善要請に関する中央折衝の実施につについては、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。
- ④ 道警察交通部長から、昭和45年度中に発生した交通事故の概要について説明の後、
井口委員（社会）から、交通事故死の認定の扱い方
村本（政）委員（社会）から、交通事故死者数が全国第1位となつた原因および指導の徹底方
について質疑、意見および要望があり、道警交通部長から答弁。

本日聴取した陳情

滝川市および空知郡江別乙町を廃し、滝川市を設置することについて
滝川市長

- 2月5日 午前11時15分、第5委員会室において開議、午前11時23分散会、委員長 島田 薫（自民）

請願、陳情の審査

陳情

第184号 滝川市及び空知郡江別乙町を廃し、滝川市を設置することの件（採択）

一般議事

委員長から、さきに実施した公務員の寒冷地手当改善に関する中央折衝の経過について、村本（三）委員（社会）から、さきに実施した滝川市および空知郡江別乙

町を廃し、滝川市を設置する件に関する道内調査の実施経過についてそれぞれ報告、異議なくこれを了承。

厚生委員会

○1月8日 午前11時45分、第9委員会室において開議、
午後零時25分散会、委員長 新谷 市造(自
民)

請願、陳情の審査

請願

- 第364号 旧軍人等に対する恩給処遇改善の件
(採択)
- 第371号 非結核性疾患児童生徒の療育給付の件
(採択)
- 第372号 栄養士、管理栄養士必置の件
(議決不要)

- 第373号 消費生活協同組合の育成強化並びに消費者の生活を守る措置の件 (採択)
- 第375号 自閉症児の治療施設設置の件 (採択)

陳情

- 第183号 肢体不自由児(者)対策の件 (採択)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和46年度厚生省関係予算の中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、民生部長および衛生部長から、昭和46年度厚生省所管予算案の主要事項について説明。
- ③ 衛生部長から、共和村国富周辺地区および仁木町共進地区ポン然別川流域におけるカドミウム汚染に対する保健衛生対策について説明の後、大石委員(社会)から、汚染実態の明示方について要望があつた。
- ④ 委員長から、栄養改善法等の改正に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。
- ⑤ 合坪委員(社会)から中央折衝に関し、辺地医療のため、国立医大の設置地区の早期解決の努力方について意見があつた。

○2月3日 午前11時13分、第9委員会室において開議、
午前11時55分散会、委員長 新谷 市造(自
民)

請願、陳情の審査

請願

- 第265号 老人医療対策の件
(保留)

- 第296号 長期入院患者に対する生活保障金(見舞金)支給の件 (保留)
- 第335号 老人医療の無料化及び敬老金制度化の件 (保留)
- 第336号 生活保護基準及び勤労控除引き上げの件 (保留)
- 第337号 北海道柔道専門学校鍼灸科新設反対の件 (保留)
- 第351号 看護従事者確保の件 (採択)
- 第368号 共同井戸施設設置の件 (保留)
- 第378号 北海道在住原子爆弾被害者特別援護の件 (保留)

一般議事

委員長から、さきに実施した栄養改善法等の改正に関する中央折衝の経過について報告書により報告、異議なくこれを了承。

商工労働委員会

○1月9日 午前11時21分、第2委員会室において開議、
午前11時56分散会、委員長 竹内 重雄(社
会)

一般議事

- ① 委員長から、明年度国費予算の要望および失業対策制度に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、商工部次長、労働部長および企業局長から、昭和46年度国費予算の概要について説明。
- ② 労働部長から、千歳駐留軍従業員の離職対策に関するその後の経過について説明の後、川合委員(社会)から、11月30日付け解雇者の特別給付金増額の週及適用について更に国に対する働きかける必要性について質疑および意見があり、労働部長から答弁、委員長から応答。

○2月4日 午前11時44分、第2委員会室において開議、
午後零時15分散会、委員長 竹内 重雄(社
会)

一般議事

- ① 労働部長から、通年雇用奨励金の支給状況について説明の後、委員長から借り入れ申し込みの少ない理由について質疑があり、労働部長から答弁。
- ② 塚本委員(社会)から、道南バスの経営問題に関し、経営危機の原因と責任の所在、バス事業の公社化等に

対する見解、道として積極的指導態勢の推進方、再建案の見直し、

山口委員(自民)から、道南バスの再建について委員会としての協力方

川合委員(社会)から、再建の可能性等について質疑、意見および要望があり、商工部長から答弁。

農務委員会

○1月7日 午後1時55分、第7委員会室において開議、
午後2時30分散会、委員長 石畑 久成(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和46年度国費予算の中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、農務部長から、昭和46年度農林省関係予算主要項目および昭和46年度米の生産調整と転作促進対策について説明。
- ② 農務部長から、国富周辺地区保有米の分析結果およびカドミウムによる環境汚染調査結果について説明。
- ③ 農務部長から、酪農主要県における集乳所設置状況について説明の後、
新村委員(社会)から、認定工場の実態調査と行政上の確かな指導方について要望があつた。
- ④ 委員長から、昭和46年度農業関係予算要望に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。

○2月3日 午後1時57分、第7委員会室において開議、
午後3時4分散会、委員長 石畑 久成(自民)

一般議事

- ① 大方委員(社会)から、さきに実施した食糧事務所の統廃合問題に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承。
- ② 農務部長から、昭和46年度米生産調整に関し説明の後、
大方委員(社会)から、昭和46年度の生産調整実施の可能性に対する判断、全体的内容と農業団体が協力しない場合の措置、国の方針に対して東北地方と本道の対処方針が相違していることに対する見解、余剰米に対する措置、地域分担に対する見解と国に対し反発する考え、生産調整の道内割り当て配分する場合の稲作

中核地帯等との関係、農業団体と早期に協議、対処方、養魚池の補助に関し、稲作転換事業と同等の取り扱い方を国に要請方、

新村委員(社会)から、生産調整の割り当て決定の時期および昨年の実績に応じて割り当てることの有無、生産調整しても余剰米が生ずる場合の対策、割り当ての具体的実施方法、生産調整に伴う地域分担について政策として打ち出さないことの見解、

笠井委員(社会)から、生産奨励補助金の5段階区分ごとの目標数字の有無、割り当てについて個人または市町村が拒否した場合の措置等について質疑、意見および要望があり、農務部長から答弁。

建設委員会

○1月12日 午後1時56分、第4委員会室において開議、
午後2時39分散会、委員長 渡辺 省一(自民)

請願、陳情の審査

請願

- 第288号 室蘭、札幌間(美笛経由)道路の建設促進の件 (採択)
- 第308号 道道乙忠部中頓別線の一部路線変更の件 (採択)
- 第330号 道道赤平砂川線歌志内隧道改良の件 (採択)
- 第365号 ウツベツ川改修工事促進の件 (採択)
- 第369号 道道当別、石狩線道路側溝改修工事施行の件 (採択)
- 第370号 北海道産材合板の使用促進の件 (採択)
- 第374号 道道茨戸、札幌線篠路地区の冬期間における通学路確保の件 (採択)

一般議事

- ① 委員長から、昭和46年度開発予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、ついで土木部長および建築部長から、昭和46年度国費予算の概要について説明。
- ② 委員長から、土木、建築事業の促進に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。

○2月3日 午前11時5分、第4委員会室において開議、
午後零時24分散会、委員長 渡辺 省一(自民)

請願、陳情の審査

請願

- 第220号 黒松内川右岸地域の飲料水断水対策の件 (保留)
- 第273号 陸別町道陸別市街線みどり橋架換の件 (採択)
- 第328号 札幌駅前シンボルロード建設の件 (採択)
- 第340号 白樺団地内道路の舗装実施の件 (保留)
- 第357号 道道屈足瓜幕線岩松橋架換並びに取付道路改良の件 (採択)
- 第358号 新得町道清水町道新内、剣山線を道道に認定の件 (保留)

陳情

- 第164号 厚田浜益線(仮称)を道道に認定の件 (採択)
- 第167号 札幌市道米里線及び菊水横7号線一部を道道に認定の件 (保留)
- 第172号 定山溪月見橋下流の橋梁架設促進の件 (保留)

一般議事

- ① 委員長から、ささに実施した建設事業促進のための中央折衝の経過概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 土木部長から、除雪事業費に関する専決処分について説明。
- ③ 建築部長から、真駒内団地商業地区処分計画および柏ガ丘オリンピック報道員宿舎建設用地の買収状況ならびに美瑛市で発生した火災事故(10名死亡)に関する説明を聴取。

本日聴取した陳情

札幌周辺自然保護緑化について
札幌周辺自然保護緑化懇談会副会長

農地開拓委員会

○1月8日 午前11時30分、第3委員会室において開議、午後零時15分散会、委員長 道下 美作(社会)

一般議事

- ① 委員長から、昭和46年度農地開拓関係国費予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、農地開拓部長から、昭和46年度農業基盤整備事業関係国費予算の概要について説明の後、津川委員(民社)から、昭和46年度当初予算は骨格予算となるが、事業実施上の支障の有無、

影山委員(社会)から、農業基盤整備事業関係予算の大幅ダウンの要因とその受け止め方、国の負担率の大幅ダウンの現状とさきの委員会における部長見解との食い違いに対する見解、稲作転換に伴う土地改良事業負担に関する道の要望が実現できなかつたことに対する見解、土地基盤整備対策の内容等について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁。

- ② 委員長から、農地開拓事業推進ならびに昭和46年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員および日程等については、委員長に一任することとした。

○2月5日 午前11時15分、第3委員会室において開議、午後1時45分散会、委員長 道下 美作(社会)

請願、陳情の審査

請願

- 第329号 開拓者負債整理対策の件 (保留)

一般議事

影山委員(社会)から、追分町開拓農協にかかる土地取得をめぐる事実関係に対する道の了知内容、不合格と判定された土地の買い戻しをしなかつた理由と調査方法、開拓財産の保全についての指導通達をだすことの考え、

津川委員(民社)から、米の生産調整に関し、農務部長の説明聴取の取り計らい方、新聞に水田転換を積極的に推進したいと述べた真意、水田転換特別対策事業の本道引き受け量に対する考え方、生産調整の中に夏工事を全面的に認めることの有無、転換奨励金を受ける期間の明確化、新規採択の転換面積に対する見解等について質疑および意見があり、農地開拓部長から答弁、委員長から応答。

水産委員会

○1月7日 午前11時51分、第6委員会室において開議、午後零時45分散会、委員長 大内 三治(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、昭和46年度水産関係主要国費予算の概要について説明。
- ② 水産部長から、昨年12月22日発生した釧路水産試験場所属の試験調査船北辰丸の火災の状況について説明および陳謝の表明があつた。
- ③ 水産部長から、ソ連警備船に衝突され沈没した明翔

丸事件の経緯、たらはえなわ漁船第18室生丸の遭難事件の経緯、静栄丸のゆくえ不明事件の経緯についてそれぞれ説明。

○2月5日 午後零時37分、第6委員会室において開議、午後1時18分散会、委員長 大内 三治(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、北方水域における安全操業問題に関する日ソ交渉の経過について説明。
- ② 水産部長から、水産関係法令の改正ならびに新設に関連し、「水産業協同組合法の一部を改正する法律案要綱」「水産業協同組合法改正案と要望事項との対比」「船員法及び関係政令改正内容」および「水産資源開発促進法(仮称)要綱(案)」等の資料により説明。
- ③ 水産部長から、昨年11月7日沿海州沖において捕された第5錦洋丸事件の概要について説明。
- ④ 水産部長から、漁連に対する水産庁の常例検査の結果について説明。

文教林務委員会

○1月7日 午後1時20分、第10委員会室において開議、午後2時30分散会、委員長 高田 治郎(社会)

一般議事

- ① 委員長から、昭和46年度国費予算にかかる中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、教育長および林務部長から、昭和46年度文教および林業予算の概要について説明。
- ② 学事課長から、岩見沢市所在の学校法人平島学園のその後の経過について説明の後、湯田委員(社会)から、再建に対する学園側の考え方と道として判断を下す時期、土地、建物に対する評価額、再建の可能性、最悪の場合の生徒、教員の受け入れに対する教育長の考え方、臨時免許取得教員の数および指導の必要性について質疑および意見があり、学事課長および教育長から答弁、原委員(社会)から、休憩して協議発言があつて、午後2時3分休憩、2時13分再開、引き続き、高橋(辰)委員(自民)から、平島学園南高校の収入と運営費のバランス、各支庁における私学対策の強化と指導の必要性、新川委員(社会)から、経営実態調査時点における適切な指導の必要性

等について質疑、意見および要望があり、学事課長から答弁、委員長から、休憩中理事会で協議の結果、職員の出遣等によりすみやかな指導方、本件の進展状況等を委員長または理事会に報告方、本件に関する委員会開催について委員長に一任方について要望等を行なうことをはかり、異議なくそのように決定。

- ③ 青木委員(社会)から、製材業界における大企業の倒産続出に対する業界の指導対策、4月、5月における企業倒産の危険性について質疑、意見および要望があり、林務部長から答弁。

○2月3日 午前11時45分、第10委員会室において開議、午後零時27分散会、委員長 高田 治郎(社会)

一般議事

- ① 委員長から、岩見沢市所在の学校法人平島学園のその後の経過について、委員長および理事会に報告された内容を報告、異議なくこれを了承、関連して、学事課長から、平島学園南高校のその後の経過について説明の後、

青木委員(社会)から、PTA総会の学校存続の決定と運営等についての考え方、学園再建に対する債権者委員会の考え方と道の方針および決断を示す必要性、

湯田委員(社会)から、現時点における負債の額と担保物件、1、2年生の教育、学園に対する助成等岩見沢市と十分話し合う必要性、

高橋(辰)委員(自民)から、PTA総会の学校存続の決定と学校法人の存廃との関連および1、2年生の措置についての指導方、

原委員(社会)から、学園再建の方向でPTA、理事、債権者、道が共通の話し合いの場をもつて検討する必要性

等について質疑、意見および要望があり、学事課長から答弁、議事進行の都合により、午前11時40分休憩、午前11時50分再開、休憩中協議の結果、委員長から、平島学園の今後の状況について10日を日途として委員長および理事会に報告を受けることとし、委員会の開催等についても協議したい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 学事課長から、旭川市内私立高等学校の授業料等値上げ問題について説明の後、

湯田委員(社会)から、旭川地区の私立高校における経営内容、納付金の値上げ抑制するため補助金を増額する必要性、競馬益金について私学振興、福祉対策に充てる考え、各学校の経営内容について道職員等を派遣して調査する必要性、生徒急増期に新設された学校について検討する必要性、

青木委員(社会)から、45年度の補助金交付と授業料値上げとの関連および生徒に対する直接助成の考え、納付金の一律値上げに対する考え方および45年度の私立高校の予算執行の状況、私学に対する財政援助の基本的考え方、旭川地区の私立学校が値上げした場合の補助金支出の考え方、入試時期の関連から収拾時期の目的、

原委員(社会)から、旭川地区以外における今後の動きと値上げ問題に関連しての知事談話の適否、父兄負担の軽減を図るための補助のあり方、学校経営の民主化、理事会運営についての指導等を行なう必要性および私立高校の経営の悪現象に対する根本的検討の必要性、

高橋(辰)委員(自民)から、道の現在の補助制度に対する考え方、値上げに関連しての知事談話の真意、旭川地区の値上げをしない方向で努力方等について質疑、意見および要望があり、学事課長から答弁、委員長から、本件に関し、平島学園の問題とあわせて委員長および理事会に報告を受けることについては、異議なくそのことに決定。

本日聴取した陳情

スクールバスの輸送について

北海道バス協会副会長

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○1月13日 午前11時55分、第8委員会室において開議、午後2時5分散会、委員長 天谷 平信(自民)

① 委員長から、さきに実施した昭和46年度開発予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して企画部長から、閣議決定された政府案の内容について説明の後、

奥野(一)委員(社会)から、国庫負担率に関し、内示以前に決定され事前に連絡、説明のなかつた理由および今後の対処方ならびに市町村に対する影響、国立医大の設置について、要求の有無

大石委員(社会)から、国庫負担の減額分を道が行なつた場合の資金計画に対する見解、10割補助解消がなされた場合道が負担する考えの有無、

医大について要求されていない点の見解、

亀井委員(社会)から、特例措置の解消に関し、47年度で終了する旨の大蔵省と開発庁の間の話し合いの有無、市町村負担に対する知事発言の真意、補助率のダウンと事業量の伸びの関連に対する資料、港湾管理を道に移管する考え

等について質疑、意見、要求および要望があり、企画部長から答弁。

② 企画部長から、広域生活圏の設定基準および圏域の試案について説明の後、

大石委員(社会)から、広域生活圏の圏域20圏とした根拠と考え方、

大沢委員(自民)から、道路網の発展により地域格差がなくなつた場合、道の出先機関を減少させる考え等について質疑および意見があり、企画部長から答弁。

③ 総合開発の推進に関する中央折衝のため委員を派遣したい旨をはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。

○2月4日 午後2時、第8委員会室において開議、午後3時32分散会、委員長 天谷 平信(自民)

影山委員(社会)から、各省庁における生活圏構想に関連し、道試案の広域生活圏の目標と達成に対する考え方および実施主体ならびに各省庁の生活圏構想との調整に対する考え方、道の構想を推進する場合の財源ならびに地域計画、実施時期等のスケジュール、各市町

村独自の計画との関連、過疎化の進行に伴う私鉄、バス経営に対する行政上の指導の方策、赤字路線バスに対する道の援助またはバス運営を公社化する考え、

西村委員(自民)から、生活圏域の考え方と小樽市の取り扱い、石狩湾新港の建設と土地先行取得資金の関連等について質疑、意見および要望があり、企画部長から答弁。

石炭対策特別委員会

○2月5日 午後1時30分、第8委員会室において開議、午後2時2分散会、委員長 高橋源次郎(自民)

- ① 商工部長および労働部長から、羽幌炭鉱閉山に伴うその後の状況について説明の後、湯田委員(社会)から、未就職者の年齢層と身障者、未亡人の就職の動向、移住資金3,600万円の支出状況、村本(政)委員(社会)から、道外就職者の就職先および関連資料、武藤委員(社会)から総合相談による就職の目途等について質疑および要望があり、商工部長および労働部長から答弁。
- ② 商工部長および労働部長から、昭和46年度石炭特別会計関係国費予算について説明の後、湯田委員(社会)から、炭鉱整理促進費の増額に関連し、なだれ閉山のおそれと道の考え方および十分な対策方について質疑および要望があり、商工部長から答弁。
- ③ 商工部長から、大日興産奈井江炭鉱の閉山問題について説明の後、湯田委員(社会)から、企業誘致を考える意思についての質疑があり、商工部長から答弁、委員長から、今後の取り扱いを理事会に一任方をはかり、異議なくそのことに決定。

札幌オリンピック冬季大会特別委員会

○1月8日 午後1時30分、第8委員会室において開議、午後1時50分散会、委員長 森 春一(自民)

- ① 委員長から、村本(三)委員(社会)の特別委員辞任許可に伴い塚本議員(社会)が補欠選任された旨を報告の後、議席の一部変更について、現在着席のとおりとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 昭和46年度札幌オリンピック関係国費予算に関する

中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、総務部長から、昭和46年度札幌オリンピック冬季大会関係国費予算案の概要について説明の後、

山下委員(社会)から、手稲山のアルペン・コースへの道路が一部急傾斜のため車がスリップし、混雑が予想されるが、この緩和対策の必要性について質疑があり、オリンピック対策室長から答弁。

- ③ 委員長から、札幌オリンピック冬季大会準備促進のための中央折衝の実施ならびに2月7日から開催予定の札幌国際冬季スポーツ大会の各競技状況等の調査の実施についてははかり、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については、委員長に一任することとした。

北方領土対策特別委員会

○2月4日 午前11時14分、第8委員会室において開議、午前11時45分散会、委員長 朝日 昇(自民)

- ① 委員長から、さきに実施した北方領土復帰促進ならびに「皇郷の家」の建設促進に関する中央折衝の経過について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 領対本部長から、北方領土復帰促進に関する啓発活動の実施について、水産部長から、北方水域の安全操業問題に関する対ソ交渉の経過についてそれぞれ説明の後、青木委員(社会)から、北方領土返還を決議している府県の代表を集め、研修会、総決起大会的なものを開催することの考え、昭和46年度の北方領土に関する教科書作成の考え方に対する見解および道独自の草案を作成する考え、時田委員(社会)から、北方領土の範囲に対する見解の明確化、野中委員(社会)から、安全操業交渉における対象水域とソ連船寄港の申し入れの有無等について質疑および意見があり、領対本部長および水産部長から答弁。

公害対策特別委員会

○1月12日 午後零時43分、第1委員会室において開議、午後2時30分散会、委員長 高橋 賢一(自民)

付託案件の審査

- ① 会議案第1号（北海道公害防止条例の一部を改正する条例案）を議題とし、質疑を続行、

佐藤(八)委員(自民)から、第6条の環境の許容基準設定の必要性および国の環境基準との関連、道の生活環境基準設定の方法、国と異なる公害の種類の有無、

大内委員(自民)から、公害関係諸法の強化された現時点における条例改正案に対する提案者の見解、現時点において条例改正案をきめることの適否および土じよう汚染、廃棄物、海洋汚染、罰則等具体的に強化されたものに対する考え方、道条例を整備する必要性および改正案の提案の見通し

等について質疑、意見および要望があり、池島委員(社会)から応答、企画部長から答弁。

- ② 委員長から、本件に対する質疑を終結する旨をはかり、異議なくそのことに決定。

その他の議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和46年度公害関係予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、企画部長から、予算内示額の概要について説明。

- ② 企画部長から、金属鉱山(国富鉱業所ほか6鉱山)のカドミウムによる環境汚染に関する総点検の調査結果について説明の後、

合坪委員(社会)から、回収した汚染米の措置方法、将来にわたつての健康調査に対する配慮、カドミウム汚染排水による海中動植物等に対する影響について質疑および意見があり、企画部長から答弁。

- ③ 公害課長から、第64臨時国会において成立した公害関係法律について説明。

- 1月29日 午後2時43分、第8委員会室において開議、午後2時53分散会、委員長 高橋 賢一(自民)

付託案件の審査

委員長から、会議案第1号（北海道公害防止条例の一部を改正する条例案）に対する各派代表者における意見調整の結果、ついに意見の一致をみるにいたらなかつた旨を報告、直ちに会議案第1号を議題とし、高橋(辰)委員(自民)から反対、井口委員(社会)から賛成の討論があり、討論終結後、直ちに挙手による採決に入り、挙手少数(反対自民)にてこれを否決、ついで合坪委員(社会)から少数意見を留保する旨発言、会議案第1号に対する審査経過および結果に関する委員長報告については、委員長に一任することにした。



全国都道府県議会議長会

- 1月26日 全議会議室において幹事会を開催、会長(神奈川県議長)あいさつに引き続き、協議に入り、45年度補正予算、46年度予算等について異議なく臨時会に提案することを承認、茨城県議会新議長の紹介があつて閉会した。

- 1月26日 都道府県会館において臨時会を開催、会長のあいさつに引き続き、来賓の大石自治政務次官からあいさつの後、議事に入り、議長に会長を選出したあと、昭和45年度補正予算は異議なく承認、昭和46年度予算は原案のとおり決定して閉会した。

都道府県議会議員共済会

- 1月26日 都道府県会館において代議員会を開催、会長(神奈川県議長)あいさつの後、議事に入り、昭和45年度変更事業計画および予算案(業務経理)ならびに昭和46年度事業計画および予算案について事務局から説明があつて、原案のとおり異議なく承認して閉会した。

10都道府県議会議長会

- 2月4日・5日の両日 兵庫県において開催、つぎの事項について協議し、関係方面に要望することとした。

- 1 陸運行政の一元化について
- 2 情緒障害児対策の充実強化について
- 3 駐留軍関係従業員の大量整理に伴う雇用対策の拡充について
- 4 選挙運動の公営化の拡充強化について
- 5 私学助成大幅増額について
- 6 プラスチック等製品の処理技術の開発について
- 7 総合的観光施策の樹立等について
- 8 海上保安体制の充実強化について
- 9 中小企業等振興策の拡充強化について

資 料

衆・参両院正副議長、常任、特別委員長一覧

(46.3.10現在)

区 分	衆 議 院	参 議 院
議 長	船 田 中 (自民)栃 木1	重 宗 雄 三 (自民)全 国
副 議 長	荒 船 清 十 郎 (自民)埼 玉3	安 井 謙 (自民)東 京
内 閣 委 員 長	天 野 公 義 (自民)東 京6	田 口 長 次 郎 (自民)全 国
地 方 行 政 委 員 長	菅 太 郎 (自民)愛 媛1	若 林 正 武 (自民)全 国
法 務 委 員 長	高 橋 英 吉 (自民)愛 媛3	阿 部 憲 一 (公明)東 京
外 務 委 員 長	田 中 栄 一 (自民)東 京1	松 平 勇 雄 (自民)福 島
大 蔵 委 員 長	毛 利 松 平 (自民)愛 媛3	柴 田 栄 (自民)愛 知
文 教 委 員 長	八 木 徹 雄 (自民)愛 媛2	高 橋 文 五 郎 (自民)宮 城
社 会 労 働 委 員 長	倉 成 正 (自民)長 崎1	林 虎 雄 (自民)長 野
農 林 水 産 委 員 長	草 野 一 郎 平 (自民)滋 賀	河 口 陽 一 (自民)北 海 道
商 工 委 員 長	八 田 貞 義 (自民)福 島2	川 上 為 治 (自民)鹿 児 島
運 輸 委 員 長	福 井 勇 (自民)愛 知5	鬼 丸 勝 之 (自民)福 岡
通 信 委 員 長	金 子 岩 三 (自民)長 崎2	横 川 正 市 (社会)全 国
建 設 委 員 長	金 丸 信 (自民)山 梨	田 中 一 (社会)全 国
予 算 委 員 長	中 野 四 郎 (自民)愛 知4	古 池 信 三 (自民)岐 阜
決 算 委 員 長	浜 野 清 吾 (自民)東 京9	森 元 治 郎 (社会)茨 城
議 院 運 営 委 員 長	渡 海 元 三 郎 (自民)兵 庫3	鍋 島 直 紹 (自民)佐 賀
懲 罰 委 員 長	菊 地 義 郎 (自民)東 京2	浅 井 亨 (公明)兵 庫

災害対策特別委員長	中 井 徳 次 郎 (社会)三 重1	北 村 暢 (社会)全 国
公職選挙法改正に関する特別委員長	吉 田 重 延 (自民)熊 本2	公職選挙法改正特別委員長 永 野 鎮 雄 (自民)全 国
科学技術振興対策特別委員長	渡 部 一 郎 (公明)兵 庫1	鈴 木 一 弘 (公明)全 国
石炭対策特別委員長	鬼 木 勝 利 (公明)福 岡3	
産業公害対策特別委員長	小 林 信 一 (社会)山 梨	公害対策特別委員長 占 部 秀 男 (社会)東 京
物価問題等に関する特別委員長	小 林 進 (社会)新 潟3	物価等対策特別委員長 佐 田 一 郎 (自民)群 馬
沖縄及び北方問題等に関する特別委員長	池 田 清 志 (自民)鹿 児 島2	沖縄及び北方問題に関する特別委員長 米 田 正 文 (自民)福 岡
交通安全対策特別委員長	伊 藤 卯 四 郎 (民社)福 岡2	鈴 木 強 (社会)全 国

1月のメモ

- 4 ○警察庁、45年1年間の交通事故死者数をまとめる、全国1万6,765人、本道882人。
○函館税関、46年度本道貿易見込み額まとめる、輸出865億円、輸入2,441億円計3,306億円、前年比輸入21%増、輸出1%増。
- 5 ○自治省、地方公害白書を発表、防止条例東京都ほか43道府県が制定、札幌、室蘭市の大気中の亜硫酸ガス濃度0.02~0.05 P P M。
- 6 ○道開発庁、46年度道路整備関係総事業費をまとめる、総額1,138億8,200万円、前年比19.4%の増。
○道、45年度版道経済白書を発表、重化学工業の立ち遅れが目立ち、第3期道総合開発計画の推進を強調、公害の防止を指摘。
- 7 ○北大医、工学部学者グループ本道の公害地図を完成。
○道、45年10月現在の毎月勤労統計調査の結果を発表、平均給与58,607円、前月比1.7%の増。
○道東北開発公庫道支店 45年4月から12月の出融資状況をまとめる、85件206億7,300万円。
- 8 ○閣議、「環境庁」を総理府外局に新設、7月1日をメドに発足させることを決定。
○道開発庁、顧問制度の設置を決定、植村甲午郎ほか3人発令。
○水産庁沿岸漁業の振興と遠洋漁業拡大のため「水産資源開発促進法案大綱」をまとめる。
- 9 ○橋本運輸相、東北新幹線札幌まで延長を認める。
○農林省、46年度の野菜対策決める、稲作転換は4万ヘクタール目標。
○文部省、盲、ろう、養護各学校を対象として、機能訓練に重点をおく特殊教育の新学習指導要領案をまとめる。
- 11 ○北洋水域の安全操業問題の日ソ政府間交渉開会式、12日から実質討議。
- 12 ○行政管理庁、国家公務員（自衛隊を除く）の46年度定員を確定する、89万4,767人5%の削減。
○日銀45年中の卸売り物価概況を発表、年間1.1%の微上昇。
○国税庁、44年2月から45年1月までの全国の法人企業の使った交際費をまとめる、9,155億円、前年比18.4%増。
○道、「輪楯の非常事態」を宣言、1月22日から2月10日まで緊急対策を推進。
- 13 ○鉄道建設審議会、新幹線建設第1次計画を諮問どうり答申、東北~北海道（盛岡~札幌）、ほか5線について早急に基本計画組み入れを建議。
- 15 ○日ソ安全操業交渉コミュニケを発表し終了、話し合いは進展しないままソ連案歯舞、色丹に限定。
- 16 ○自治省45年度の地方公務員給与実態調査をまとめる、4月1日現在月平均5万7,000円。
○通産省、45年の輸入承認額を発表、178億6,400万ドル、前年比、23.5%増。
- 18 ○自動車工業会、45年の自動車生産台数を発表、528万8,453台、前年比13.1%の伸び。
- 19 ○運輸省、46年度港湾整備事業費のうち特定重要港湾関係の各港別配分額を内定、本道分釧路港ほか7港134億4,000万円。
○運輸審議会、北海道地区などの路線トラック運賃の改定申請を承認橋本運輸大臣に答申、平均12.8%の値上げ。
○政府、自由化関係閣僚協議会で残存輸入制限の自由化20品目を決定。
- 20 ○大蔵省、45年の国際収支状況を発表、総合で13億8,000万ドルの黒字、44年に次ぐ第2位の記録。
- 21 ○日ソ航空交渉妥結、新潟~ハバロフスク空路新設に合意。
○道、45年9月30日現在の住民基本台帳人口移動報告速報を発表、(533万1,598人)。
○道、44年の資本金1,000万円以上の法人企業2,441を対象とした経済調査結果を発表、利益会社86.7%。
- 22 ○閣議46年度の経済見通しと経済運営の基本的態度を正式決定、成長率実質10.1%。
- 23 ○自治省、46年度地下鉄建設債の配分額を決定、総額140億円、札幌40億円。
○自治省、44年度市町村決算の概況を発表、歳出総額3兆5,000億円、前年比22.2%の増、歳入額3兆6,600億円、前年比24.9%の増。
- 25 ○道、自然保護審議会委員に石川俊夫氏ほか19人を発令。
- 27 ○道、45年度の離島、辺地など廃止路線代替バスの運行費と車両購入費の補助金交付額を決定、運行費8町村182万3,000円、車両購入費6町村476万6,000円計658万9,000円。
○札幌通産局、45年の道内金属、非金属鉱業の生産状況を発表、亜鉛16%の増加、水銀企業縮小で大幅減産。
○葉山御用邸全焼。
- 28 ○札幌国税局、道内国税徴収額を発表、45年12月末現在1,157億円、前年比18%の伸び。
○経済企画庁、45年11月現在で調査した消費者動向予測調査結果を発表、家計消費12年ぶりで減少。
- 29 ○総理府統計局、45年全国消費者物価指数を発表、物価上昇率7.7%、27年以來の最高。

2月のメモ

- 1 ○全道労協、賃金白書発表、45年春闘の本道賃上げ平均額5,643円アップ率平均16.3%。
- 2 ○閣議、参議院選挙地方区現行定員で実施を決定。
- 3 ○農林省、米の生産調整都道府県別配分決定、面積53万6,900ヘクタール、目標数量230万トン、本道5万4,000ヘクタール、21万9,300トン。
- 5 ○日赤と北朝鮮赤十字社で帰還合意文書に調印、5月中旬に第1船。
○道農務部、国富周辺地区産米汚染対策委員会でカドミウム1.0PPM以下であれば一般米混入も差支えないと道側の方針を説明。
- 6 ○道、45年12月末の道税徴収実績をまとめる、調定額625億7,800万円、収入額527億3,200万円、前年対比、調定額の伸び率17.8%、収入歩合84.2%。
- 7 ○札幌国際冬季スポーツ大会開会式、皇太子ご夫妻ご臨席、参加23カ国。
○人事院、教員に対する教職調整額の支給に関する報告、俸給月額額の4%の調整額支給、超勤は文部大臣と協議新たに基準を定める方針。
○民社党、第14回定期大会終る、委員長に西村栄一氏5選。
○農林省、46年産米の都道府県別予約限度数量760万トンを内示、本道73万9,800トン。
○道教委、46年度の学校職員定数を発表、小、中、高、特、合計4万8,453人、45年度から144人の減。
- 9 ○閣議、全国交通安全運動実施要綱を決める、前期4月6日～10日まで、後期4月26日～5月1日まで、2対策。
○閣議、46年度地方財政計画を了承、総額9兆7,172億円。
- 10 ○産業構造審議会、企業の公害防止体制整備について中間答申、公害防止は企業の責任。
○北電、46年度の道内電力施設計画を発表、総額356億6,000万円、新規は伊達。
○小林法相辞任、(後任は植木庚子郎氏17日に決定)
- 12 ○総理府統計局、45年の労働力調査をまとめる、農林業1年間で57万人減る。
○道46年産米生産調整数量支庁別配分を発表。
- 13 ○自治省、地方公付税(普通)1,022億円の追加配分を決定、道46億96万円、市町村23億1,569万円。
- 14 ○札幌国際冬季スポーツ大会閉会式。
○行政管理庁義務教育学校の給食につき監察の結果をまとめる、設備改善など6項目。
- 15 ○札幌商工会議所、道内スーパーマーケットの実態調査をまとめる、個々の経営体質は虚弱。
○道選管、統一地方選挙実施本部を発足。
- 16 ○札幌地裁、北炭夕張事故に判決、「業務上過失致死傷」は無罪。
○道、「老人福祉に関する道政についての世論調査」の結果を発表、調査対象65歳以上1,200人、42年の調査に比し病弱者6%の増。
- 17 ○総理府、国会議員から選出される北海道開発審議会委員に篠田弘作氏ほか6名を任命。
○道衛生部、昨年1年間の本道の人口動態を発表、自然増5万9,885人、前年より863人の減。
- 18 ○札幌市、長期総合計画第1次5年計画(46年度～50年度)を発表、事業費は3,048億7,200万円。
- 19 ○第1回定例道議会開会。
○北海道、東北、東京3電力と電源開発会社、本州と本道を結ぶ送電連系について構想を発表、津軽海峡に容量60キロワットの海底ケーブルを48年度着工、工費185億円敷設。
○道、共和村のカドミウム汚染米で健康調査結果を報告、汚染地区の住民の1日のカドミウム摂取量0.3ミリグラム以下。
- 20 ○札幌国税局、44年度中の本道の相続税および贈与税の課税実績を発表、相続税415件1,314人、税額15億9,000万円、贈与税5,171人、税額5億700万円。
○第1回道財界政策会議終る、3期計画7項目を提言。
- 21 ○札幌「青函トンネル昭和46年度着工記念祝典」開く、工事線指定4月1日、10月に認可の予定。
- 22 ○自治省、2月1日現在調の4月統一地方選挙を実施する団体数を発表、全国2,861件、本道268件。
○道、北方領土問題に関する世論調査結果を発表、調査対象満20歳以上の男女1,200人、63%関心あり。
○道地方競馬運営委、道営競馬の改善について答申。
- 23 ○北京、藤山訪中団の藤山愛一郎氏、周恩来首相と会談。
○閣議、両陛下の海外訪問計画を決定、9月27日出発、ベルギー、英国、西独を公式訪問。
○道開発審議会総会を開く、46年度道開発予算案を承認、総事業費国費分2,733億2,200万円。
○道労働部、45年7月末現在の道内中小企業賃金実態調査結果をまとめる、道央地区4,910円に対し道南地区3,630円と地域格差が目立つ。
○新東京国際空港にかかる強制代執行はじまる。
- 24 ○総理府統計局、「44年全国消費実態調査」をまとめる、サラリーマンの実収入20年間で2.7倍、本道は収入、支出とも全国平均を下回る。
○自治省、45年度特別交付税の配分を決定、総額1,080億7,504万円、本道関係計75億7,040万円、道分23億5,031万円、市分18億9,603万円、町村分33億2,405

万円。

- 農林省統調、45年度の本道漁業経営体調査をまとめる、経営体総数2万7,148で前年より3%減少しているが100トン以上の層が大幅増加。
- 函館税関、北海道貿易物産振興会45年の本道貿易額輸出782億円、前年比8.5%増、輸入1,414億円、25.4%増、計2,200億円18.8%増と発表。
- 25 ○住宅地審議会、第2期住宅建設5カ年計画を答申、建設戸数950万戸、うち民間570万戸、公的資金住宅380万戸。
- 労働省、「働く人の安全と健康」と副題を付けた初の労働白書を発表。
- 総理府統計局、「45年の家計調査」を発表、月額手取り、10万円越え、本道平均は全国より5,000円以上少ない。
- 文部省、5段階評価方法について通達。
- 28 ○北京、日中覚書貿易交渉妥結。